



稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより No.10
令和 5年12月25日
文責 校長 遠藤 隆典

【学校の教育目標】
りこうで たっしやで
ほがらかな 稲穂の子

稲穂小 WEB



「校長先生、けん玉で『もしかめチャレンジ』をやりたいんです！」

校長 遠藤 隆典

「僕、けん玉の『もしかめチャレンジ』をやりたいんですけど、やっていいですか。」

先週、ある6年生が校長室に来て、チャレンジ2023の相談に来ました。自分からやりたいことを伝えるために行動した気持ちがうれしく、3学期に再び「ホールパフォーマンスチャレンジ」を実施することを約束しました。しかし、その児童が望んでいたのは、自分がパフォーマンスを発表することではなく、みんなにけん玉に挑戦してもらって『もしかめチャレンジ』を企画したいということでした。チャレンジ企画の主催者になろうとしていたのです。企画の主体者になろうと自ら行動したことに感動しました。

今年度は、主体的に判断し行動する力を高めるために、授業や行事、チャレンジ2023企画を通じて、子どもたちに「自分から」という意識を高めてきました。この6年生のように、子どもたちに「自分で考えて行動する力」が少しずつ培われていっていることを信じています。冬休み、家庭で過ごす時間の中でも、自分から行動する姿を褒めて、意識を高めていただけることを期待しています。

さて、約4ヶ月間の2学期が、本日無事終了いたします。経験のない暑さへの対策など保護者の皆様には、日課変更などの対応を頻繁に求めさせていただきました。地域関係者の皆様には、様々なサポートをしていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。皆様の学校へのご理解ご協力のおかげで、今学期も、全職員でチーム力を高めて教育活動の充実を図ることができたと感じています。そして、子どもたちは、あたたかい学校風土の中で、どの学年においても、個々が大きく成長した2学期となりました。本当にありがとうございました。

皆さま、よいお年をお迎えください。



あいさつあふれる稲穂小をめざしましょう！

2学期末、児童会のあいさつ運動が行われました。児童会の委員がしらかばホールや玄関前であいさつを呼びかけました。児童会の願うゴールは、進んであいさつする人であふれる学校です。あいさつは、人と人にたくさんのプラスを生んでくれます。さらに意識が高まることを期待しています。冬休み中は、ぜひご家族であいさつをしあって、気持ちよくあいさつする力を育てていってください！



2学期後半のインフルエンザによる学級閉鎖により、6年生の年間の授業時数に余裕がもてない状況となってしまいました。予定の変更となり、ご迷惑をおかけ致しますが、6年生は3学期の月曜日をB日課6時間授業とする日を下記の7回実施致します。

「学びの保障」を確保するため、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

6年生 3学期の日課変更のお知らせ！

2学期後半のインフルエンザによる学級閉鎖により、6年生の年間の授業時数に余裕がもてない状況となってしまいました。予定の変更となり、ご迷惑をおかけ致しますが、6年生は3学期の月曜日をB日課6時間授業とする日を下記の7回実施致します。

「学びの保障」を確保するため、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

★日課変更日 1月22日(月)、1月29日(月)、2月5日(月)、2月19日(月)

2月26日(月)、3月4日(月)、3月11日(月) 計7日

★下校時刻は15時ごろ

小樽協会病院黒田敬史医師による 4 年生保健の出前授業「生命の世界ふしぎ発見！」



小樽協会病院産婦人科黒田医師による出前授業、4年生保健「生命の世界ふしぎ発見！」が11/28と12/12の2回にわたって行われました。

1回目は、命(子ども)はどのようにしてでき、どのように成長していくのかについて学びました。精子と卵子、受精、そして、母親のお腹の中で時間をかけて育つことを学び、子どもたちは「赤ちゃんはお腹の中で10ヵ月いないといけなかった」「自分の知らないことが知れてよかった」と命の大切さへの実感を深めていました。

2回目は、思春期における身体の特徴と発達を主なテーマに、体の成長について学び、思春期に現れる男女の体や気持ちの変化を教えてくださいました。触らせない、触ってはいけない男女のプライベートゾーンがあることもわかりやすく教えてくださいました。自分・そしてお互いを守るためのことを印象深く学びました。最後には、身体の成長は個人差があること、そして、思いやりをもつことが大切というお話がありました。

教科書の学習内容に沿いながらも、医師ならではの専門的な画像やクイズを取り入れた工夫した学習展開により、子どもたちは真剣にしっかり考えながら学んでいました。授業の途中には、黒田医師の提案で、先生方が、自分の思春期のエピソードを話す場面もあり、大変充実した保健授業となりました。

6年生みのりの時間の「キャリア教育」がスタート！講師第1弾は校長でした

将来の夢につながる職業観・勤労観の醸成を目指した6年キャリア教育『ドリームズカムトゥルー』がスタートしました。

第1弾として、校長が話す機会をいただきました。

どうして教師になったのか、教師の仕事のやりがいなど、自分自身をふり返り、子どもたちが「自分らしさを輝かせ、社会で豊かに生きていくこと」を願い、話させてくださいました。

小学生時代のお調子者な反面、小心者で勉強もイマイチだった自分が、スポーツの経験や先生とのかかわりで自信をもったこと、覚悟を決めて必死で努力した経験、教師を志したエピソード、そして、今感じている働きがいなどを話させてくださいました。

真剣に話に反応しながら聞く子どもたちを前に話すことは、うれしい時間でした。まもなく中学生へとステージアップする6年生の心に一つでも響くものがあつたことを願っています。



教員志望の北翔大学生が稲穂小に学校体験に来ました！教師目指してがんばれ！



北翔大学の教員志望の大学生5名が12月1日、本校で学校体験をしました。北海道教育委員会「学力向上事業」の指定校として、全職員で取り組んでいる「誰一人取り残さないあたたかい学校づくり」の様子を、学生に学ばせたいという北翔大学の要望を受け行われました。

当日は、学生5名にも稲穂小チームの一員として、各学年の授業参観や授業サポートを行い、先生方の授業の姿から、様々なことを学んでいただきました。

授業での、先生方のあたたかいかわりを生かした指導や授業での具体的な動きは、大学生にとって貴重な学びとなったようです。子どもたちも、大学生に積極的に話したり勉強を教えてもらって、短い時間でしたが大学生とかわる楽しさを味わいました。

後日、学校に届いたお礼の手紙には、感謝の言葉と「先生になりたい！」という気持ちが全員一気に高まったと書かれていました。その後の学ぶ姿勢が変わるほどの大満足の学校体験だったようです。教員を目指す若者のために稲穂小教職員皆がみせた「あたたかさいっぱいチーム力」が、大学生に伝わり、うれしく感じています。

次年度は、北翔大学の教員志望学生の学校体験会を、計画的に複数回実施していけたらと考えています。